



エコ・ファーストの約束(更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

平成24年3月22日

環境大臣 細野 豪志 殿

ワタミ株式会社 代表取締役社長 桑原 豊

ワタミ株式会社は、地球で事業活動(外食、食品製造・卸、介護、宅食、農業、環境・メンテナンス)を営む企業の社会的責務を踏まえ、法令順守を徹底するとともに、環境負荷の軽減を通じ積極的な社会貢献活動を促進するため、以下の取り組みを進めてまいります。

ワタミグループは、環境宣言2008「美しい地球を美しいままに、子どもたちに残していく」に基づき、環境方針W-ECOビジョン2020「グループCO₂排出量を2020年までに50%削減(2008年度比、原単位・売上高当り)」の達成を目指します。

1 事業活動における環境負荷を低減します(CO₂削減)

- 2012年度までに次のCO₂削減目標を達成します。
 - ムダな電気の削減の促進やLED照明の新規店舗、および新築介護施設(ホーム)への導入などにより、外食(店舗)、介護、宅食事業でのCO₂排出量を2008年度比、原単位(売上高当り)で15%削減します。
 - 食品製造・卸事業での輸送によるCO₂排出量を2008年度比、原単位(売上高当り)で15%削減します。
 - 外食事業の既存店舗でのCO₂排出量を2008年度比、総量で15%削減します。
- 削減目標達成のため、全事業で認証を取得している環境ISO14001を強化し、日常の環境負荷低減に努めます。

2 循環型社会構築のため、環境改善事業を強化します(リサイクル率向上)

- 外食および食品製造・卸事業での食品廃棄物(生ゴミ)のリサイクルに努めます。
 - リサイクルループ(再生利用事業計画認定制度)を構築して、外食店舗や食品製造工場の生ゴミを堆肥化し、グループ会社の農場で活用します。(2012年度に東京近郊の200店舗(関東の店舗の約1/2)で実施)
 - リサイクルループ以外の地域でもリサイクルに努め、2012年度までに外食および食品製造・卸事業の合計の再生利用等実施率50%を達成します。
- リユース社会構築のため、リサイクルさせていた日本酒ビンのリユースの取り組みを促進します。(2012年度に関東、甲信越、東北地域の全店舗でリユースを実施)
- 安全・安心な循環型社会構築のため、化学肥料を使用しない有機野菜の圃場を2012年度に250haまで拡大をします。

3 グループ社員の環境意識を向上させ、日々の環境改善を推進します(社員の行動)

- 「エコ夢サイト」(環境家計簿)を活用することによって、グループ会社の社員の環境意識を向上させ、生活で排出するCO₂を2012年度に一人当たり10%削減(2008年度比)します。
- さらに社員の環境教育を促進し、パート・アルバイトを含めた生活で排出するCO₂を2020年度までに一人当たり30%削減(2008年度比)を目指します。

4 森林保全などの環境活動に取り組む地域やNPO活動を応援します

- 環境教育や森林保全に取り組むための「ワタミの森」の活動を促進します。
- 店舗や介護施設(ホーム)などで間伐材などのバイオマスを活用するとともに、NPOや地域の活動を応援し、森林保全に貢献します。
- 環境省・オフセット・クレジット(J-VET)制度を活用し、約90%の店舗でカーボンオフセット・ドリンクを導入し、森林保全に取り組む地域を応援します。

ワタミ株式会社は、上記の取り組みの進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省に報告します。

地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになりたい。

WATAMI.